

岡山市入札外部審査委員会及び岡山市水道局入札外部審査委員会の概要

平成 19 年度第 1 回岡山市入札外部審査委員会及び岡山市水道局入札外部審査委員会を下記のとおり開催しましたので、その概要についてお知らせします。

記

- 1 開催日 平成 19 年 5 月 17 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- 2 開催場所 岡山市役所 5 階入札室
- 3 出席委員（敬称略 五十音順）
泉 照子，井上 信二，内田 通子，菊池 捷男，水川 武司
- 4 事務局
(1) 岡山市
川島財政局長，片山財政局統括審議監，森安監理課長，光森契約課長，大杉契約課課長代理，難波監理課契約指導係長
(2) 水道局
佐々木統括審議監，難波管財課長，近藤管財課課長補佐，國富
- 5 議題
「岡山市入札外部審査委員会及び岡山市水道局入札外部審査委員会」意見書についての審議
- 6 会議概要
 - 意見書原案については，前回協議した内容が網羅されていると思う。次の視点を入れてはどうか。
 - ・市民に喜ばれ，市民の福祉向上を図る視点を入れた入札契約制度を構築
 - ・長期的視野に立って障害者雇用，男女共同参画社会及び子育て支援等を盛り込んだ入札契約制度を構築
 - ・地域とそこに根ざす優秀な会社を育てていくとともに，地元企業育成が談合につながらないような公正で透明性の高い入札契約制度の構築
 - 方針が曖昧なところ，文中の表現のわかりにくいところは文章を修正する必要がある。
 - 許容価格 1 0 0 0 万円以下の工事についてどうすべきなのかどうしていくのか，具体的に示す方がよい。また監理課を新たに設置したことにより，内部通報を受け入れ，又は不正な行為を行わないよう指導監督することなど，もう少し踏み込んだ方がよいのではないか。
 - 「意見の概要」にも 1 0 0 0 万円以下の工事の取扱についても入れてる必要がある。
 - 一般競争入札に近い仕組みではわかりにくいので具体的な例示を入れてはどうか。
 - 市民にわかりやすい表現にするとともに格調高い文章がよい。
 - 談合について，その対策は重要でそれを防止するものである内部通報システムの活用は必要である。また，文章表現については感情的な表現は避けるべきだ。

- 1000万円未満の工事については一般競争入札にしないと読めるのだが、一般競争入札の対象金額をもっと下げるべきと前回協議されたと思う。また、競争が激化すると手抜き工事が行われると読めるが、実際には競争がなくても手抜きをする事例があるので、表現を改めたほうがよい。
- 企業を守ることが、地域らしさを大切にして、併せて地域を育てることにつながるような視点があればよい。
- 利益の少ない学校や橋の耐震工事の入札には入札する企業がなくなると報道されていた。しかし、そのことで一番困るのは市民だと思う。
- 非常に難しい問題だと思う。
- 地元のためにと立ち上がってくる企業があればよいと思うし、そういった企業を育てることが必要なのではないかと思う。
- ただし、入札の基本は公明正大だ。
- 意見書の内容は全会一致で決定するのか。
- 意見の相違もあるかと思うが3対2でもよいのではないかと思う。
- 大きいところは一致できているのでそれでよい。
- 地域性について議論が分かれているところだが、あえて書かない方がよいのではないかと思う。
- それぞれの委員が持っている地域性のニュアンスが違うのではないか。自分が思っている地域性とは岡山市全体を思っている。
- 一定規模の工事については岡山市内業者に限定するという表現でもよい。
- 現時点で意見書を出す意義を考えると地域性を論じるよりも公正な競争入札が行われるべきだということに視点を置かなければならない。
- 再度、修正したものをお配りして全員から意見を聞いた上で意見書をまとめることでよいか。また、市長へ意見書を提出するときは、都合のつく委員全員の出席をもって行うことでよいか。
- 了解（全委員）

- 次回委員会は7月24日（火）午後2時から開催する。